

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	5-3-1-1
事務事業名 道路改良事業				部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	建設課
	一般	01-080203002	細々目名	係等名	土木係
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	3	生活道路網の整備		
	基本事業名	1	生活道路の整備		

事業概要 実施内容	生活道路（幹線道路以外の集落内の道路等）の狭隘部の解消を図り緊急車両等の円滑な交通や利用者が安全で快適な利用ができる道路の整備。				
根拠法令等	道路法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	127,033 円	15 工事請負費	11,917,500 円
	7 賃金	円	12 役務費	円	17 公有財産購入費	15,328,395 円
	8 報償費	円	13 委託料	円	22 補償補填及び賠償金	513,997 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	27,886,925 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		市道				
手段（事業の具体的な内容、手順等）		→	活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標			
地域住民からの要望に基づき、改良・舗装工事を実施する路線の優先順位を決定 測量設計業務 地元説明会の実施 用地・補償物件の交渉・契約 工事設計・発注・施工管理 竣工検査			指標 (1)	名称	式	道路改良実施延長 (m)
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）		→	成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標			
生活道路の整備により、地域の発展と安全・安心で快適なまちづくりを促進する。			指標 (1)	名称	式	道路改良率 道路改良済延長 (m) / 改良計画延長 (m) * 100
			指標 (2)	名称	式	道路舗装率 道路舗装済延長 (m) / 舗装計画延長 (m) * 100
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか 安全で円滑、快適に利用できる生活基盤を整備し、地域の発展と快適なまちづくりを図る。						

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	m			232	150	
	活動指標 (2)	m			244	652	
	成果指標 (1)	%			39.2	39.2	
	成果指標 (2)	%			39.2	39.3	
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			27,887	24,898
	事業費計 (A)	千円			27,887	24,898	
	職員数	人				0.5	0.5
	人件費	千円				8,373	8,373
人件費計 (B)	千円				4,187	4,187	
総事業費 (A+B)	千円				32,074	29,085	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
新市基本計画事業(H19.1.1~)として「生活道路整備事業」が入っているが、維持修繕にかかる経費が多く、道路改良事業経費を増やすことが難しい。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
市民からの砂利道舗装要望が増えている。また、早期完成についても要望されている。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
道路改良事業を実施することで、住民が安心・安全に通行できる環境のまちづくりに寄与する。	住民が安心して生活できる環境の整備は、道路管理者の責務。	「生活道路の整備」が、「道路改良事業」及び上位施策の目的であり、対象意図は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
道路改良事業には、多額の事業費がかかるため、計画的な事業の推進が必要。	要望累計が増加するため、中止は不可能である。	類似事業は無い。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
適正な事業費積算・入札を行っており、最小限の経費で実施している。		最小限の人員で実施しており、削減は無理である。
全ての市民が利用する道路である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	成果である道路改良率を高めたいが、実際は道路改良要望が巨大であり、改良率が増えない。 成果向上のための予算獲得が難しいのが現状である。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	生活道路整備は市民生活に直結しており、事業を拡大も考えられる。しかしその前に、担当部でコストも含めどうするのか明確にしないと、今後の判断ができない。また、道路整備の優先順位について、住民を説得できる内容が精査する必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						
<ul style="list-style-type: none"> 全体のバランスの中でどれだけ事業が展開できるか考えると、コストは現状維持とする。 道路整備優先順位を精査し、住民に納得いただける基準を示すことで成果を向上させる。 危険箇所については、予算別枠で緊急措置する。 																						